

秋田県内の珠洲系陶器資料

栗 沢 光 男

高 橋 忠 彦

熊 谷 太 郎

秋田県埋蔵文化財センターでは、設立以来毎年、埋蔵文化財発掘調査事業に係わる専門的な知識の理解を深め、関係職員の資質向上を計ることを目的に、埋蔵文化財研修会を開催している。昭和60年度のテーマは、「秋田県内の珠洲系陶器」で、講師に国立歴史民俗博物館考古研究部教授吉岡康暢先生を招聘し、県内各地で出土した珠洲系陶器を一堂に集め、その研究方法の指導と、「珠洲系陶器の歴史的展開」と題する御講演を戴いた。別添掲載の実測図・写真はその際の実見資料の主なものである。

秋田県内の珠洲系陶器の出土地は、窯跡、集落跡、中世城館跡、経塚等である。窯跡は現在の所、県北部の山本郡二ツ井町エヒバチ長根（茂谷沢）窯跡と県南部の仙北郡南外村大畑窯跡の二箇所^(註1)で、前者は未発掘であるが時期は珠洲編年のⅠ期と考えられ、後者は昭和55年に同村教育委員会が発掘調査を実施し、窯跡1基と多量の陶器を検出しており、Ⅰ期に併行するものである。発掘調査の行われた窯跡からやや北に離れた尾根筋に、数基の窯跡が存在することが知られている。集落跡の代表的なものとしては、山本郡峰浜村中田面遺跡^(註2)と秋田市下夕野遺跡^(註3)がある。前者はエヒバチ長根（茂谷沢）窯跡に近い所に立地しており、後者では出土した陶器の中に、大畑窯跡出土品と酷似しているものが認められ注目されている。中世城館は、昭和53～58年にかけて行った秋田県教育委員会の調査によると、全県で878箇所が確認されている。このうち当センターで調査した珠洲系陶器を出土している館跡は約20館で、今後増加するものと思われる。経塚はやや古い統計であるが、秋田県教育委員会の昭和38年の調査によると全県で28基存在する。珠洲系陶器の歴年代資料として広く紹介されている久安5年（1149）5月日経筒銘を共伴する平鹿郡大森町上溝観音寺の広口壺・片口鉢、寿永3年（1184）3月日銘経筒、建久7年（1196）4月2日銘経筒を共伴する湯沢市松岡字外堀の壺・片口鉢が代表とされるのものであろう。このほかに大館市花岡町長森出土の広口壺（資料一覧No.6）、四耳壺（資料一覧No.3・9）のように宗教的色採が色濃く看取される意識的な埋納例もある。以上県内の珠洲系陶器の出土状況について概観してみた。出土陶器の器種は四耳壺・壺・播鉢が多い。

註1 南外村教育委員会 『大畑窯跡発掘調査報告書』 昭和55年（1980年）

註2 秋田県教育委員会 『中田面遺跡発掘調査報告書』 昭和55年（1980年）

註3 秋田市教育委員会 『下夕野遺跡発掘調査報告書』 昭和54年（1979年）

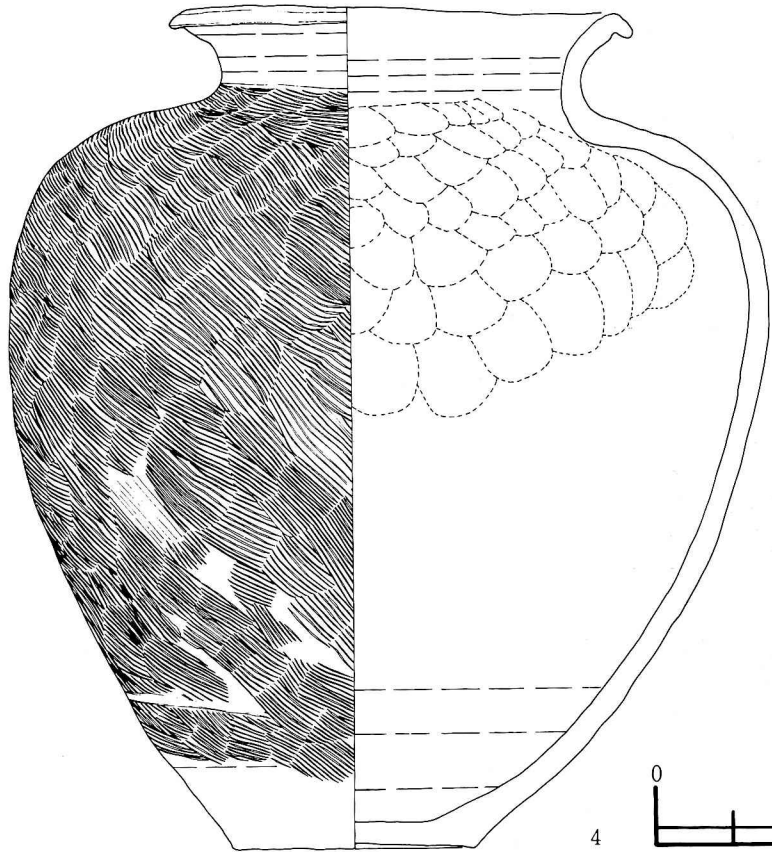
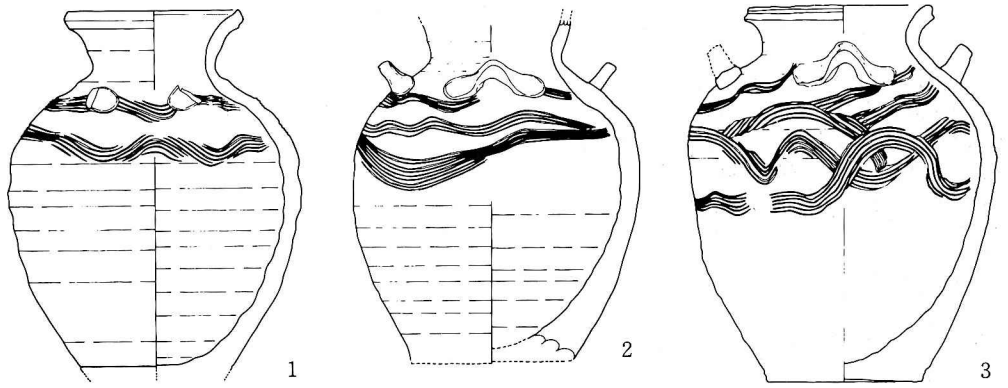
註4 吉岡康暢 「珠洲系陶器の歴年代基準資料」 『北陸の考古学』 昭和58年（1983年）

資 料 一 覧

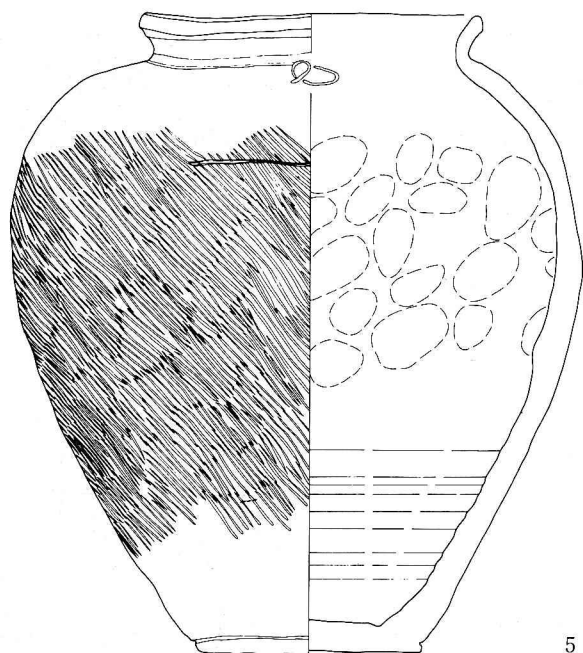
No	器 種	法 量 (cm)			陶 器 の 形式・年代	遺跡名	出 土 地	文 献	保 管 者
		口径	底径	胴径					
1	四 耳 壺 (櫛目波状文)	10.7	8.6	18.5	23.5	I 期	山本郡二ツ井町		秋田県立博物館
2	四 耳 壺 (櫛目波状文)	9.7	10.3	18.0	22.2	I 期	山本郡二ツ井町切石		
3	四 耳 壺 (櫛目波状文)	12.1	9.9	19.4	23.8	I 期	大館市花岡町長森		大館市教育委員会
4	壺	29.4	14.5	48.0	52.6	I 期 (12C中～後半)	平鹿郡雄物川町本町大 沢字北野	「雄物川町郷土史」 (昭和55年)	雄物川町 郷土資料館
5	壺	21.0	14.0	36.0	40.5	I 期 (12C後～13C)	河辺郡河辺町飛沢字上 段	「河辺町史」 (昭和60年)	
6	壺	24.0	13.7	34.5	37	I 期	大館市花岡町長森		大館市教育委員会
7	壺 (櫛目波状文)	11.0	7.5	18.0	19.2	II 期	由利郡仁賀保町馬場	「仁賀保町史」 (昭和47年)	
8	壺	19.7	11.1	30.7	40.0	II 期 (13C前半～中)	秋田市寺内		秋田市教育委員会
9	四 耳 壺 (櫛目波状文)	12.1	8.8	18.8	25.1	II 期	大館市花岡町長森		大館市教育委員会
10	壺	26.0	10.0	29.8	35.7	II 期	雄勝郡羽後町新町院内 沢		
11	壺	12.7	9.2	18.1	23.2	II 期	秋田市寺内		秋田市教育委員会
12	播 鉢	32.0	12.7		15.5	IV 期	秋田市寺内字後城	秋田市教育委員会 「後城遺跡発掘調査報告書」 (昭和53年)	秋田市教育委員会
13	播 鉢	41.5	14.5		17.9	VI 期 (15C後半)	秋田市飯島穀丁		秋田県立博物館
14	播 鉢	42.0	14.3		15.2	VI 期 (15C前半)	能代市仁井田		

備 考 1. 珠洲系陶器の形式・年代は国立歴史民俗博物館考古研究部 教授 吉岡康暢氏の御教示による。

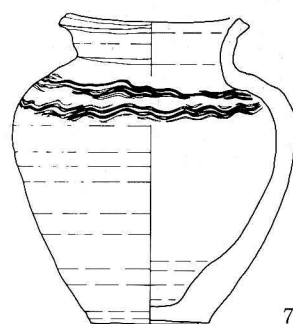
2. 珠洲系陶器の実測図はすべて縮尺28/100である。



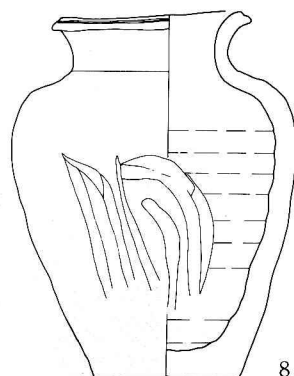
珠州系陶器資料No. 1 ~ 4



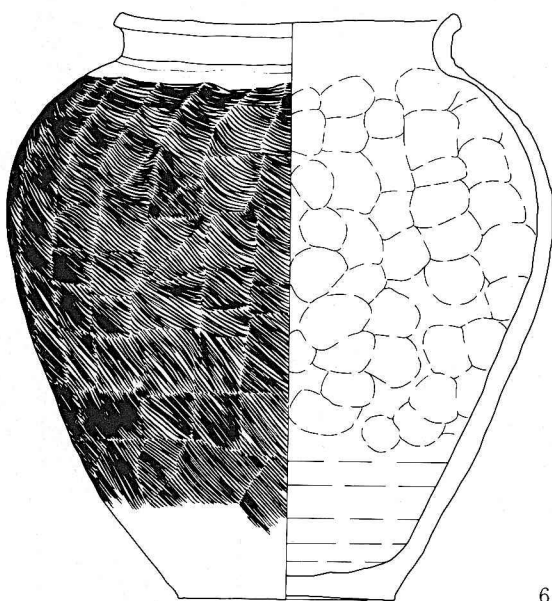
5



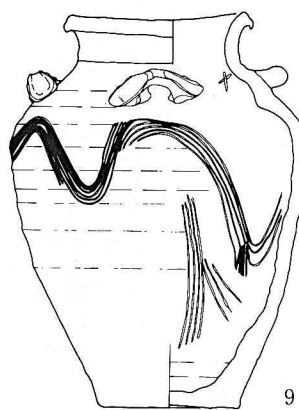
7



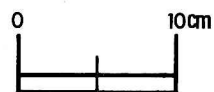
8



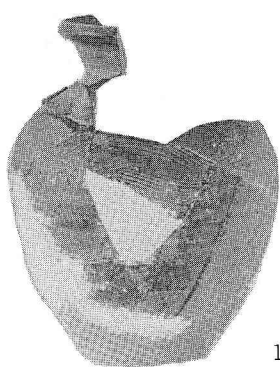
6



9



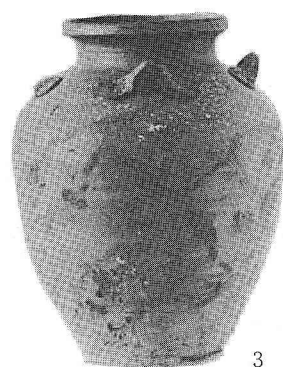
珠州系陶器資料No. 5～9



1



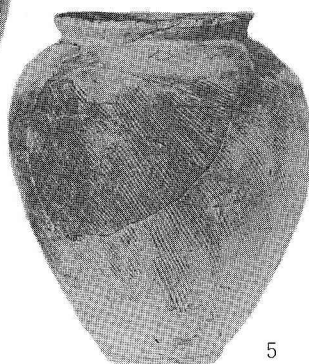
2



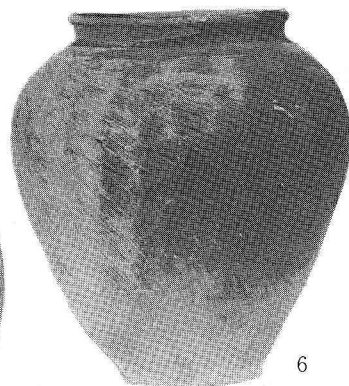
3



4



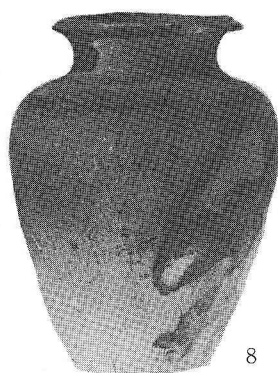
5



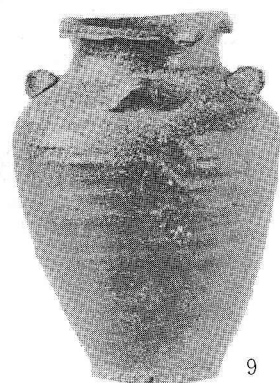
6



7

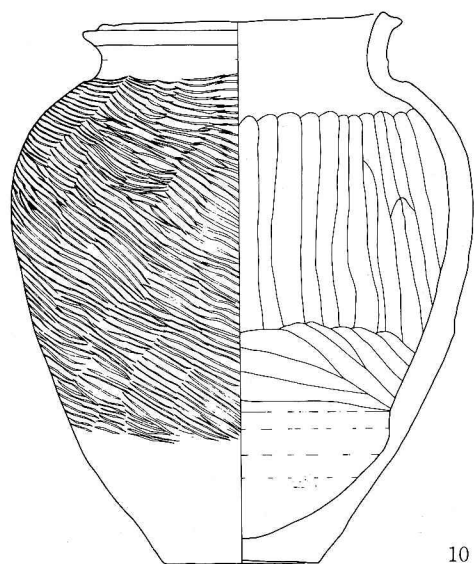


8

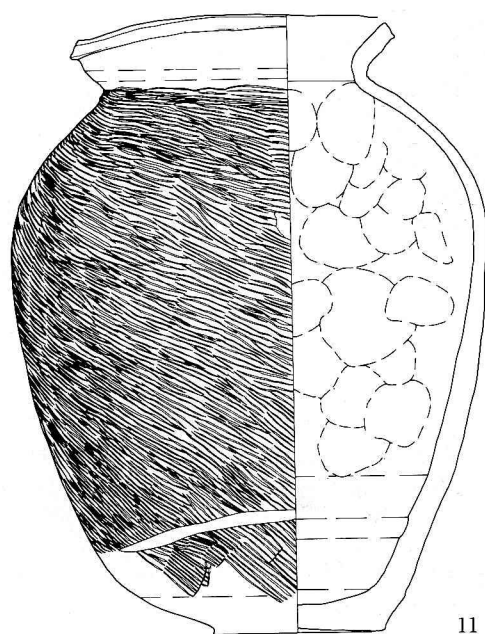
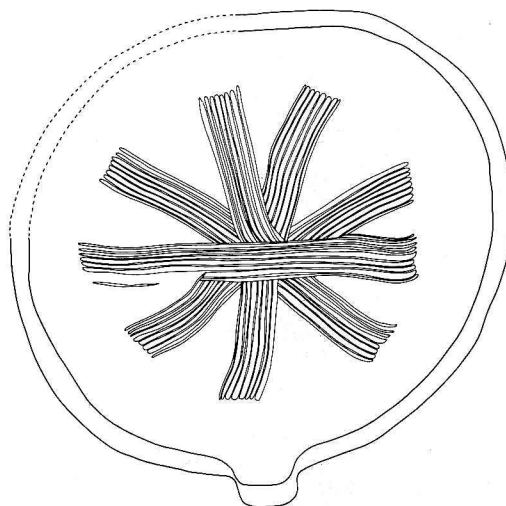


9

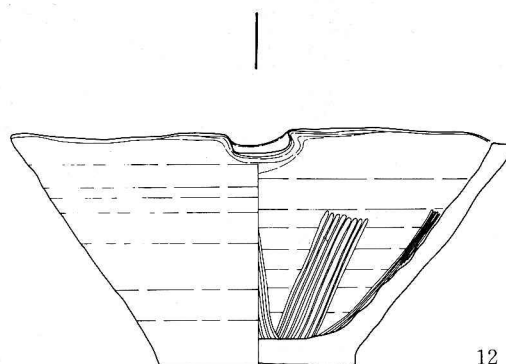
珠洲系陶器資料No. 1～9



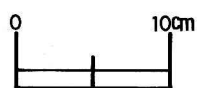
10



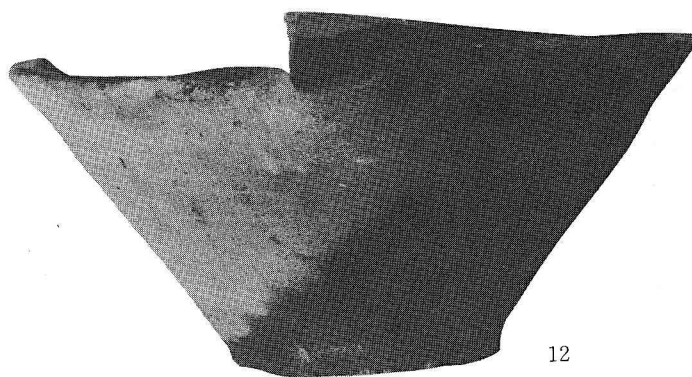
11



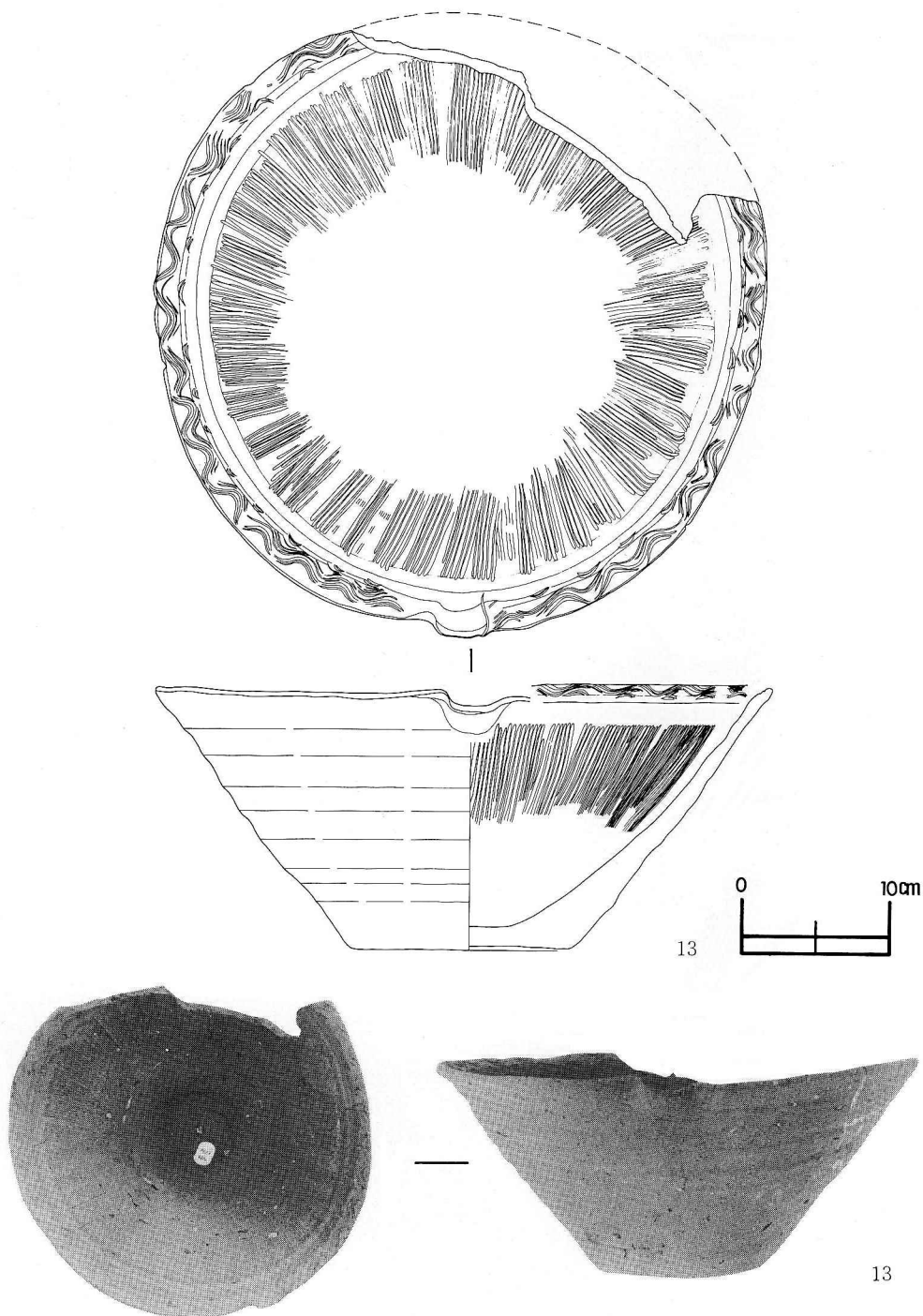
12



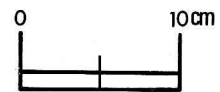
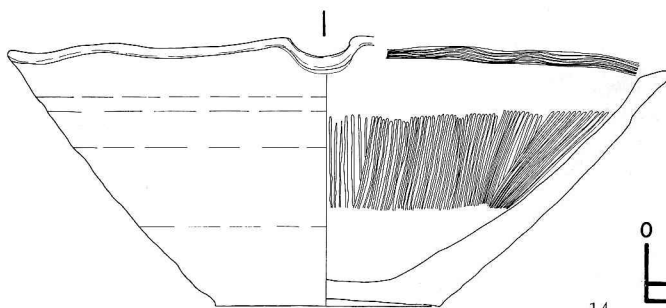
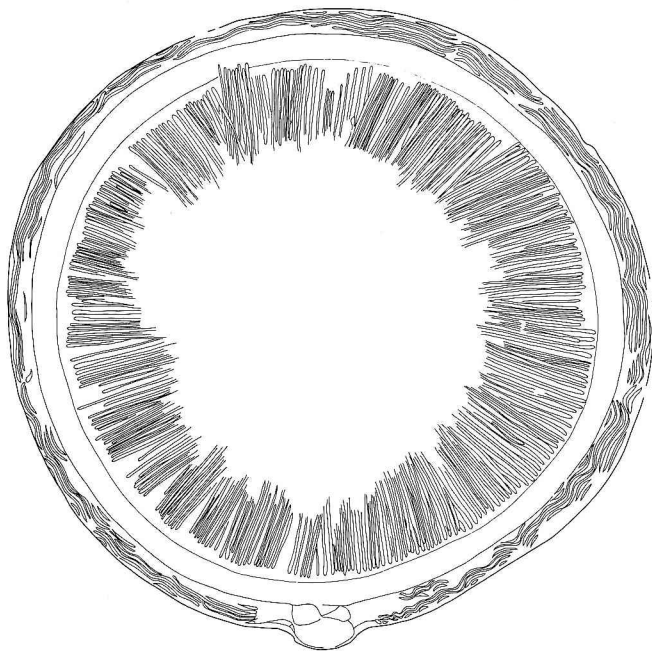
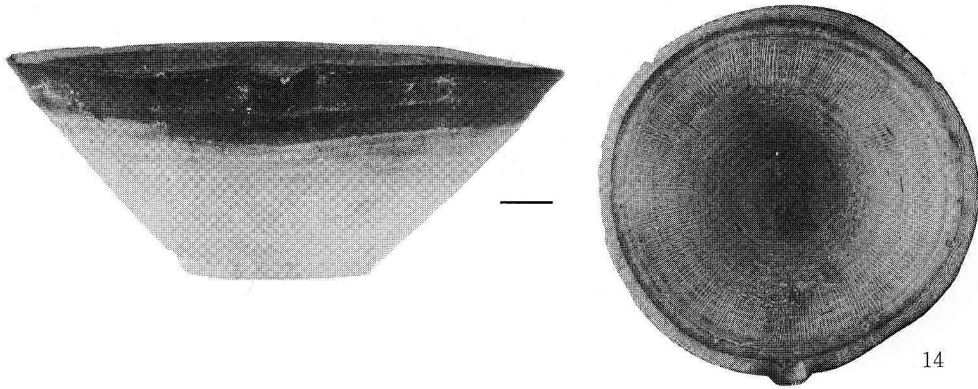
珠州系陶器資料No.10~12



珠洲系陶器資料No.10～12



珠州系陶器資料No.13



14

珠洲系陶器資料No.14